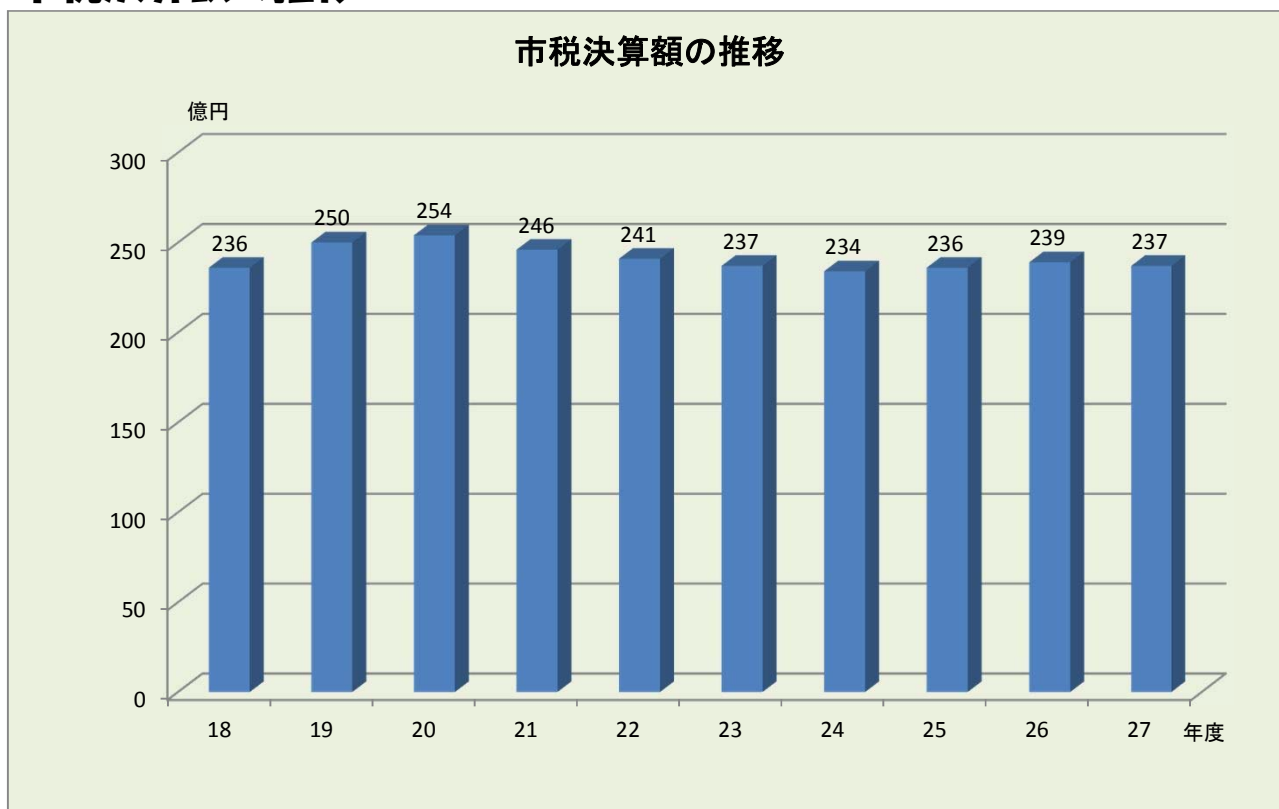


## 市税決算額の推移



佐倉市の市税は、平成24年度を境に、ゆるやかに増加傾向にありましたが、昨年度決算額は、前年度比1億6千万円の減となりました。  
 主な要因としては、税制改正による法人市民税の減、評価替えによる固定資産税等の減などが挙げられます。

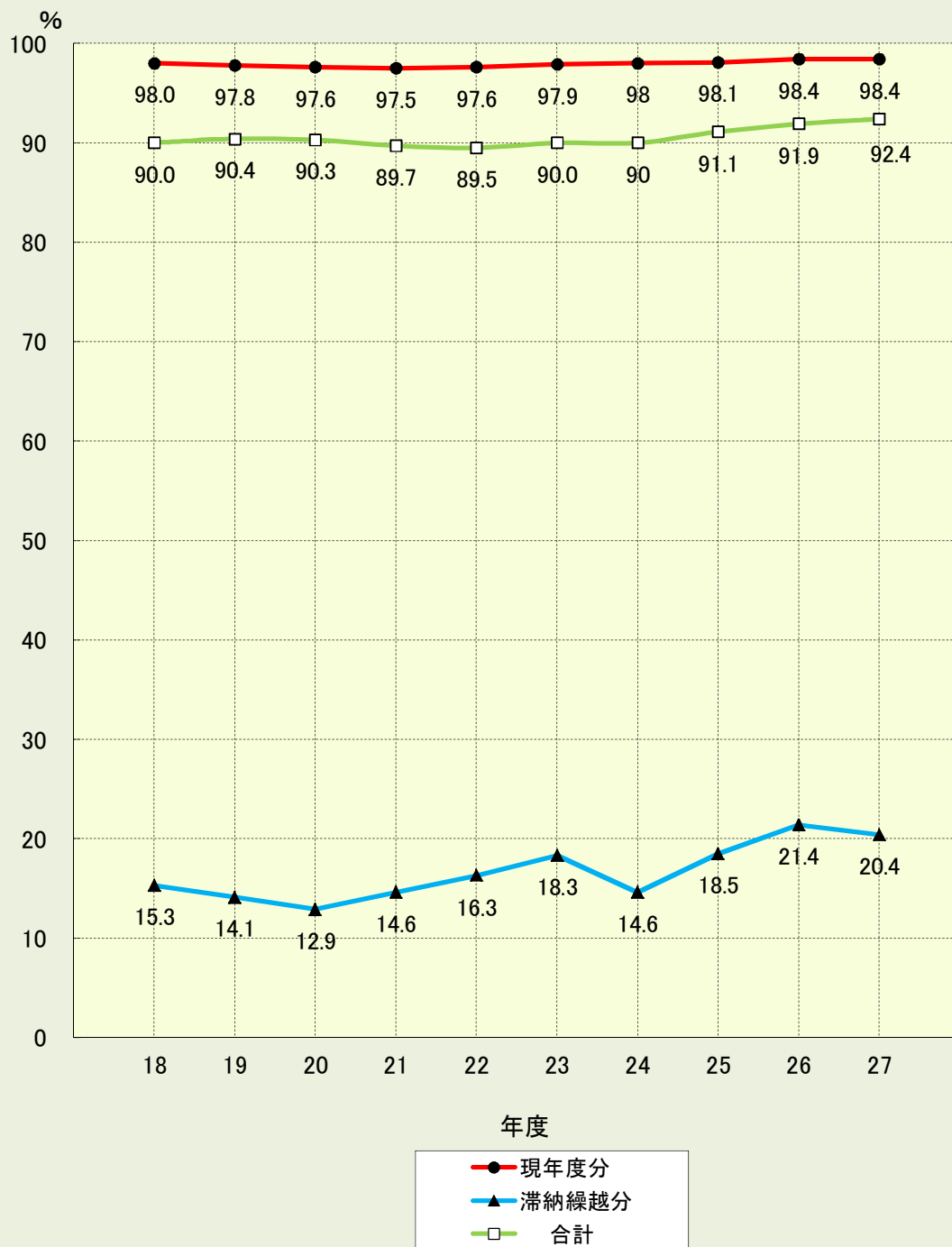
## 平成29年度 市税の要求状況

(単位:千円)

区 分	平成28年度			平成29年度(要求)			予算額の増減	
	調定額	予算額	収入率	調定額	予算額	収入率		
市民税	個人	11,981,955	11,050,791	92.23%	11,953,689	11,116,642	93.00%	65,851
	法人	1,224,435	1,196,687	97.73%	1,305,853	1,283,309	98.27%	86,622
	計	13,206,390	12,247,478	92.74%	13,259,542	12,399,951	93.52%	152,473
固定資産税	9,691,944	8,749,413	90.28%	9,654,456	8,846,271	91.63%	96,858	
軽自動車税	227,791	199,821	87.72%	262,966	233,512	88.80%	33,691	
市たばこ税	964,626	964,626	100.00%	900,819	900,819	100.00%	△ 63,807	
都市計画税	1,769,348	1,593,629	90.07%	1,748,419	1,604,949	91.79%	11,320	
計	25,860,099	23,754,967	91.86%	25,826,202	23,985,502	92.87%	230,535	

平成29年度当初予算要求額は、昨年度比で約2億3千万円の増額となっています。主な要因としては、収入率の向上によるものです。これは、平成27年度の収入率の伸びを考慮したものです。

## 収入率の推移



徴収事務にあたっては、事務の分担を現年分と過年分に分割し、現年分は、文書・電話・臨戸による催告を積極的に実施することで滞納の新規発生を防止し、過年分については、滞納者の財産調査と差押や公売などの滞納処分を積極的に実施することにより、収入率の向上に努めました。